



企画展「青木コレクション名品展」から

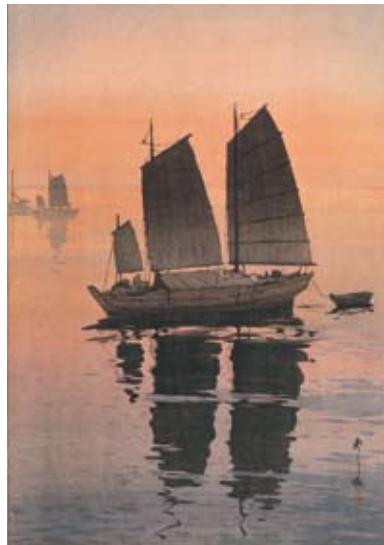
吉田 博 「瀬戸内海集 帆船 朝」
「瀬戸内海集 帆船 夕」

世の中には、その人にしか、成し得ないものがあります。芸術と呼ばれるものもそのひとつでしょう。ご紹介した作品は、一見水彩画のように見えますが、実は木版画です。朝陽の清々しい光の部分、作者の吉田博（1876-1950）が手術用のメスを使って彫っています。これが木版というだけでも驚きですが、さらに博は、それまでにない実験的な試みを行っているのです。それは「同じ版木」を使用しながら、摺りの色を変えることによって別の作品を創り上げたこと

（「瀬戸内海集 帆船 夕」）。色彩を変化させただけで、同じ構図がまったく違った印象を与えることに、私たちはあらためて気づかされます。博は、太陽の推移に伴って刻々と表情を変える海を、確かな観察力で捉え、繊細な色彩を何度も摺り重ねることで表現しました。彼は、これらの作品により、同じ情景が時刻によって劇的に変化するということを強調するとともに、同じものが複数制作できる版画において、「どのように摺るか」ということの重要性を指摘しているのです。しかしそれもこれも、水彩画家として活躍した博ならではの新鮮な視点と優れた色彩感覚なしには生み出されなかったことでしょう。



「瀬戸内海集 帆船 朝」大正15年（1926）当館蔵



「瀬戸内海集 帆船 夕」大正15年（1926）当館蔵

この町には、吉田博という人物のみが成し得たものが遺されているのです。

※本作品は4月15日（日）まで開催中の「青木コレクション名品展」に出品されています。那珂川町馬頭広重美術館学芸員

津田 卓子

ミニギャラリー
作品募集!

あなたの作品をここに出展してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ：企画財政課

☎0287-92-1114

第2回那珂川町学生版画コンクール
町長賞受賞作品
「騎馬戦」佐藤真也さん（小川）



ミニ
ギャラリー



ザゼンソウ（梅萼公園）